

令和 4 年度病床機能報告（県全体）の結果について（速報）

1 機能別の病床数について

長崎県全体

長崎県全体における令和 4 年度の 4 機能の病床報告数は 19,185 床で、昨年度と比較し 563 床減少しました。令和 3 年度一令和 2 年度より減少幅は大きくなっています。

また、病床機能別では回復期で増加、高度急性期、急性期、慢性期で減少しています。

図 1 過去 3 年間の病床機能報告

高度急性期 急性期 回復期 慢性期

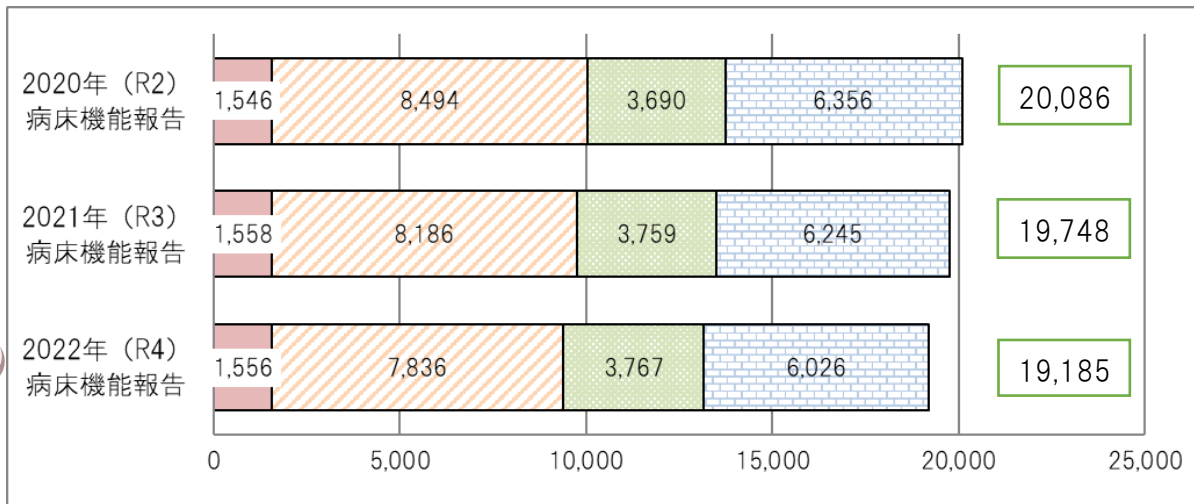
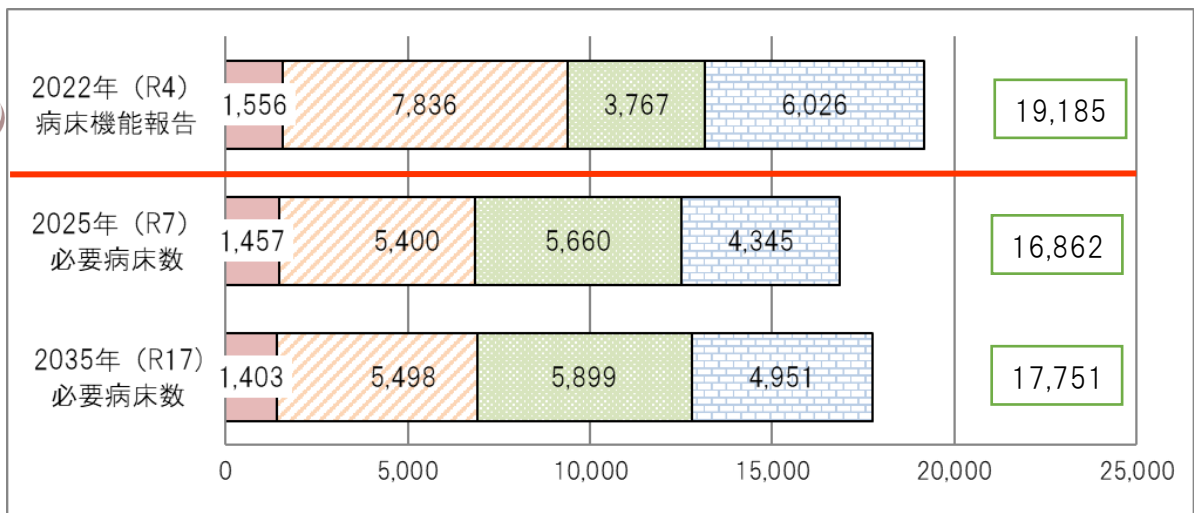


図 2 R 4 年の病床機能報告と将来の必要病床数との比較



* 本報告は 2020 (R2)、2021 (R3) は確定値、2022 (R4) は速報値で作成しています。

構想区域別

構想区域別の総病床数は、昨年度と比較し、離島地区では同数、本土地区では減少しました。回復期病床は、長崎、佐世保県北、県央、県南で昨年度より増加しております。また、全ての地域でR7 必要病床数を超えています。

図3 本土地区の比較

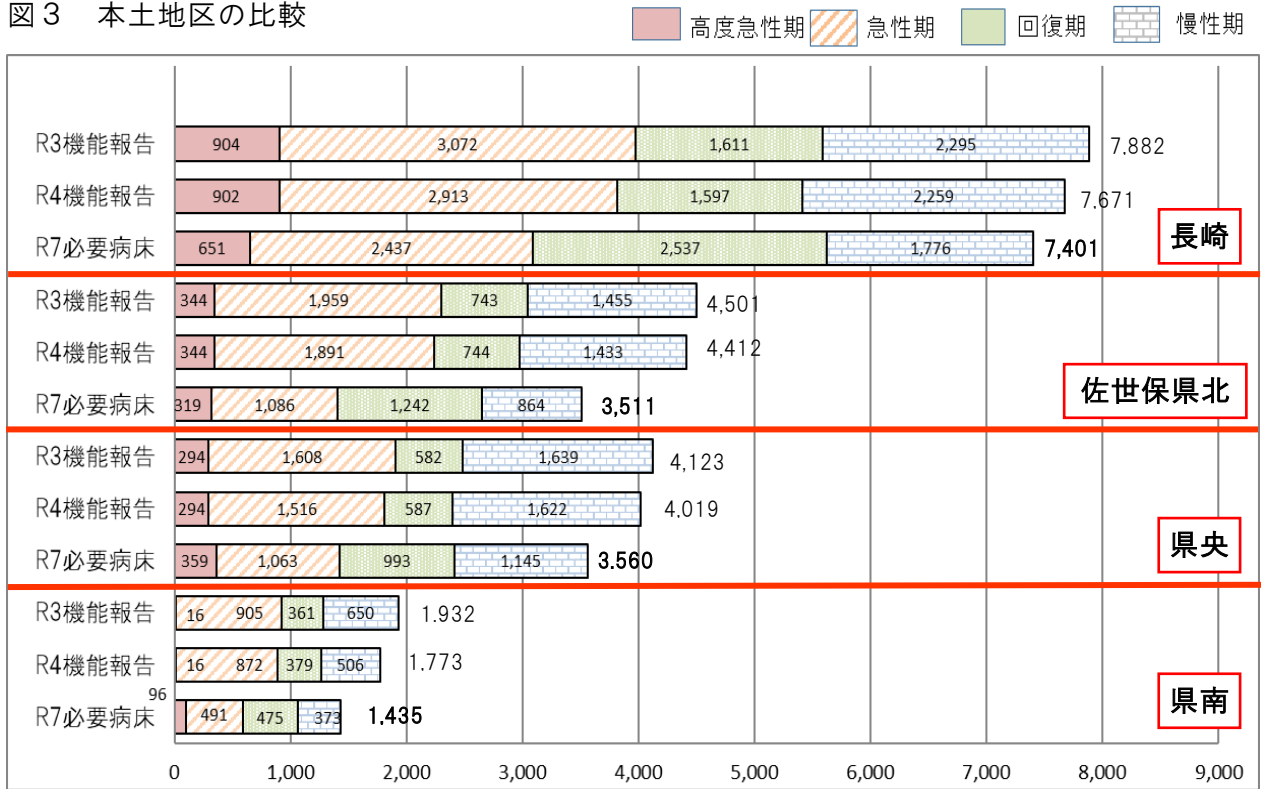
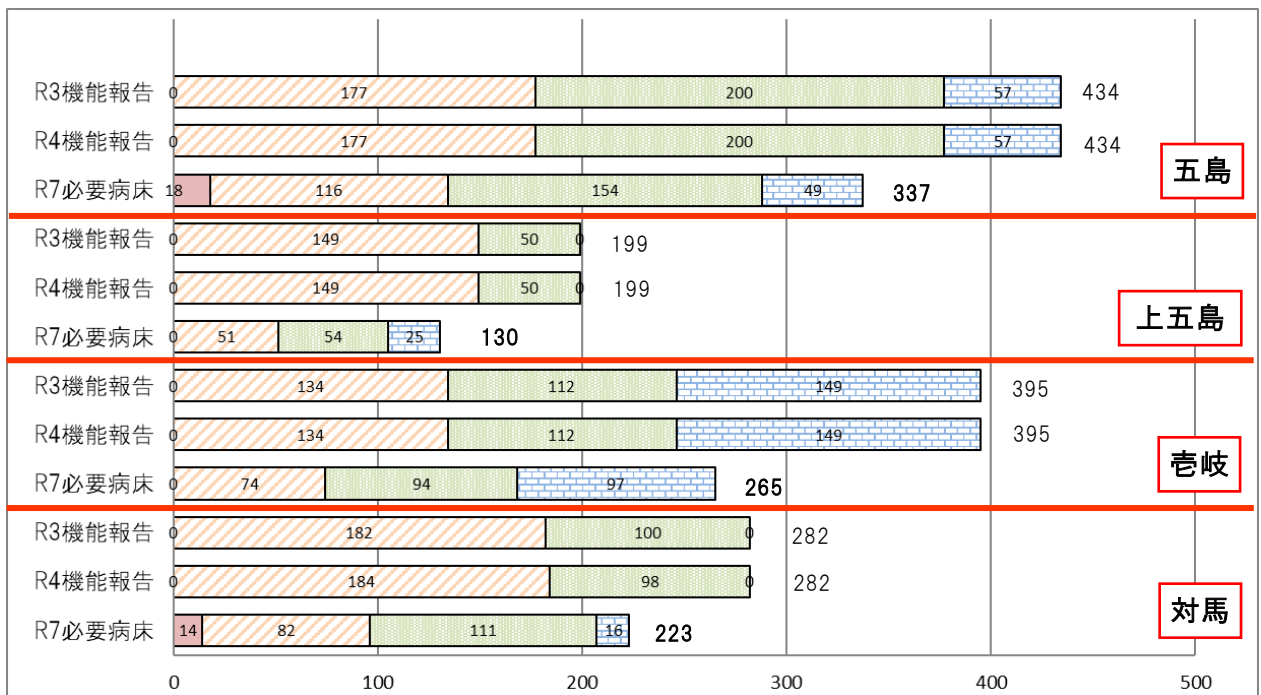


図4 離島地区の比較



2 医療機関の種類別の報告状況について

R4 報告における長崎県全体の「休棟中、休棟予定、廃止予定」の病床数は、全体の 5.1% で、病院では病院病床の約 2%、診療所では診療所病床の約 24% を占めています。休棟等の報告は昨年度の 946 床から 1,034 床に増加しました。

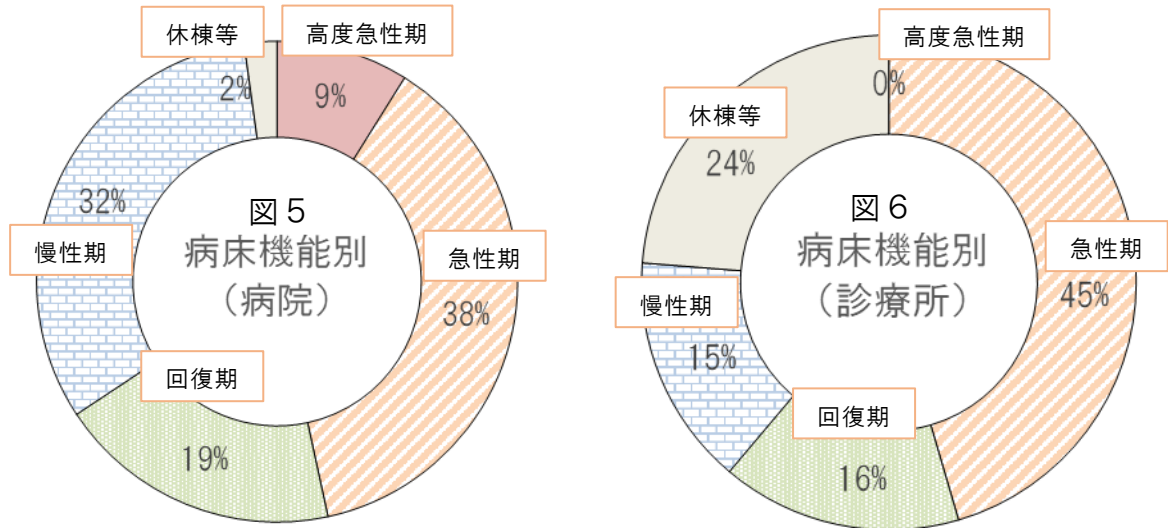


図 7 病院・診療所における 4 機能及び休棟等報告数

種別	医療圏	病床計	高度急性期	急性期	回復期	(再掲)		慢性期	(再掲)		休棟等
						一般病床	療養病床		一般病床	療養病床	
病院	長崎	7,066	902	2,428	1,480	812	668	2,135	394	1,741	121
	佐世保県北	4,083	344	1,696	569	249	320	1,321	245	1,076	153
	県央	3,551	294	1,181	489	433	56	1,532	622	910	55
	県南	1,487	16	696	339	117	222	421	0	421	15
	五島	434	0	140	200	200	0	54	0	54	40
	上五島	182	0	132	50	0	50	0	0	0	0
	壱岐	395	0	134	112	112	0	149	0	149	0
	対馬	282	0	184	98	98	0	0	0	0	0
	県合計	17,480	1,556	6,591	3,337	2,021	1,316	5,612	1,261	4,351	384
診療所	長崎	900	0	485	117	117	0	124	102	22	174
	佐世保県北	678	0	195	175	149	26	112	79	33	196
	県央	679	0	335	98	86	12	90	51	39	156
	県南	380	0	176	40	40	0	85	37	48	79
	五島	79	0	37	0	0	0	3	3	0	39
	上五島	17	0	17	0	0	0	0	0	0	0
	壱岐	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	対馬	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6
	県合計	2,739	0	1,245	430	392	38	414	272	142	650
計	長崎	7,966	902	2,913	1,597	929	668	2,259	496	1,763	295
	佐世保県北	4,761	344	1,891	744	398	346	1,433	324	1,109	349
	県央	4,230	294	1,516	587	519	68	1,622	673	949	211
	県南	1,867	16	872	379	157	222	506	37	469	94
	五島	513	0	177	200	200	0	57	3	54	79
	上五島	199	0	149	50	0	50	0	0	0	0
	壱岐	395	0	134	112	112	0	149	0	149	0
	対馬	288	0	184	98	98	0	0	0	0	6
	県合計	20,219	1,556	7,836	3,767	2,413	1,354	6,026	1,533	4,493	1,034

3 一年間利用されていない病床について

休棟等報告を除く「1年以上入院実績のない病床数（4機能の病床数から1年間の最大使用病床数を除いたもの）」は1,405床で、昨年度の1,350床と比べ55床増加しました。病床機能報告上の「休棟等」報告を含めると2,439床が非稼働病床です。また、休棟等を除く許可病床で1年以内に利用された病床の割合は一般91.6%・療養95.2%（昨年度：一般92.2%・療養95.4%）と昨年度と同程度の結果でした。

図8 一般・療養病床における機能別許可等報告病床数

表1	許可病床													合計
	一般病床							療養病床						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	4機能計	休棟等	合計(休棟含)	急性期	回復期	慢性期	3機能計	休棟等	合計(休棟含)	
長崎	902	2,901	929	496	5,228	285	5,513	12	668	1,763	2,443	10	2,453	7,966
佐世保県北	344	1,891	398	324	2,957	296	3,253	0	346	1,109	1,455	53	1,508	4,761
県央	294	1,503	519	673	2,989	183	3,172	13	68	949	1,030	28	1,058	4,230
県南	16	872	157	37	1,082	75	1,157	0	222	469	691	19	710	1,867
五島	0	177	200	3	380	79	459	0	0	54	54	0	54	513
上五島	0	143	0	0	143	0	143	6	50	0	56	0	56	199
舌岐	0	134	112	0	246	0	246	0	0	149	149	0	149	395
対馬	0	184	98	0	282	6	288	0	0	0	0	0	0	288
計	1,556	7,805	2,413	1,533	13,307	924	14,231	31	1,354	4,493	5,878	110	5,988	20,219

表2	稼働病床（最大使用病床）													合計
	一般病床							療養病床						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	4機能計	休棟等	合計	急性期	回復期	慢性期	3機能計	休棟等	合計	
長崎	867	2,679	860	458	4,864		4,864	12	651	1,655	2,318		2,318	7,182
佐世保県北	316	1,671	350	279	2,616		2,616	0	341	1,084	1,425		1,425	4,041
県央	239	1,426	484	637	2,786		2,786	13	66	890	969		969	3,755
県南	16	753	151	36	956		956	0	215	434	649		649	1,605
五島	0	157	190	3	350		350	0	0	42	42		42	392
上五島	0	132	0	0	132		132	0	48	0	48		48	180
舌岐	0	130	89	0	219		219	0	0	146	146		146	365
対馬	0	164	96	0	260		260	0	0	0	0		0	260
計	1,438	7,112	2,220	1,413	12,183		12,183	25	1,321	4,251	5,597		5,597	17,780

表3	稼働病床（最大使用病床）／許可病床													合計
	一般病床							療養病床						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	4機能計	休棟等	合計(休棟含)	急性期	回復期	慢性期	3機能計	休棟等	合計	
長崎	96.1%	92.3%	92.6%	92.3%	93.0%		88.2%	100.0%	97.5%	93.9%	94.9%		94.5%	90.2%
佐世保県北	91.9%	88.4%	87.9%	86.1%	88.5%		80.4%		98.6%	97.7%	97.9%		94.5%	84.9%
県央	81.3%	94.9%	93.3%	94.7%	93.2%		87.8%	100.0%	97.1%	93.8%	94.1%		91.6%	88.8%
県南	100.0%	86.4%	96.2%	97.3%	88.4%		82.6%		96.8%	92.5%	93.9%		91.4%	86.0%
五島		88.7%	95.0%	100.0%	92.1%		76.3%			77.8%	77.8%		77.8%	76.4%
上五島		92.3%			92.3%		92.3%		96.0%		85.7%		85.7%	90.5%
舌岐		97.0%	79.5%		89.0%		89.0%			98.0%	98.0%		98.0%	92.4%
対馬		89.1%	98.0%		92.2%		90.3%							90.3%
計	92.4%	91.1%	92.0%	92.2%	91.6%		85.6%	80.6%	97.6%	94.6%	95.2%		93.5%	87.9%

表4	機能別の非稼働病床（許可病床－稼働病床（最大使用病床））及び休棟等病床													合計
	一般病床							療養病床						
	4機能の非稼働病床							3機能の非稼働病床						
	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	4機能計	休棟等	合計	急性期	回復期	慢性期	3機能計	休棟等	合計	
長崎	35	222	69	38	364	285	649	0	17	108	125	10	135	784
佐世保県北	28	220	48	45	341	296	637	0	5	25	30	53	83	720
県央	55	77	35	36	203	183	386	0	2	59	61	28	89	475
県南	0	119	6	1	126	75	201	0	7	35	42	19	61	262
五島	0	20	10	0	30	79	109	0	0	12	12	0	12	121
上五島	0	11	0	0	11	0	11	6	2	0	8	0	8	19
舌岐	0	4	23	0	27	0	27	0	0	3	3	0	3	30
対馬	0	20	2	0	22	6	28	0	0	0	0	0	0	28
計	118	693	193	120	1,124	924	2,048	6	33	242	281	110	391	2,439

一年以上入院実績がない病床 （但し、休棟等報告を除く）	令和4年度	1,405床（一般1,124床、療養281床）
	令和3年度	1,350床（一般1,069床、療養281床）

4 令和7年の予定病床数と必要病床数の比較について

長崎県全体

令和4年度病床機能報告における4機能の令和7年度予定病床数は、県全体で19,254床であり、昨年度報告と比較し285床減少しましたが、令和7年度の必要病床数を超えています。

病床機能別では、高度急性期、急性期、慢性期では必要病床数を超えている一方、回復期では大きく不足しております。

図9 R4年の病床機能報告と将来の必要病床数との比較

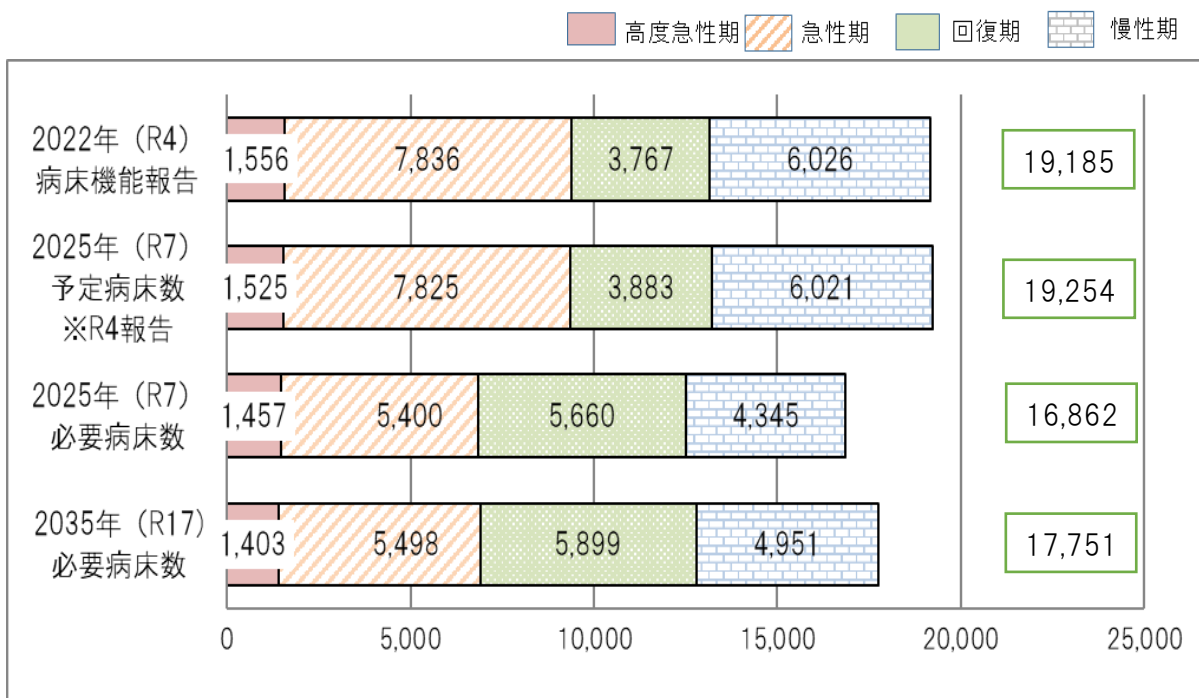
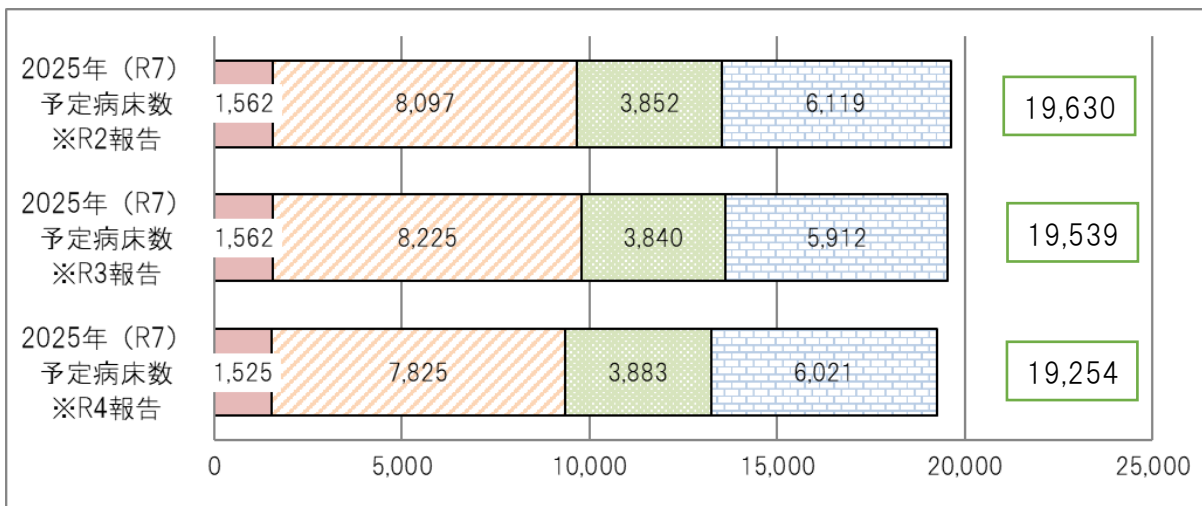


図10 過去3年間の病床機能報告



構想区域別

構想区域別のR7の予定病床数は、全ての地域でR7の必要病床数を超過しています。特に急性期については全ての地域で必要病床数を大きく超える予想となっております。一方で、特に長崎、佐世保県北、県央の回復期については、必要病床数から大きく不足しております。

図1-1 本土地区の比較

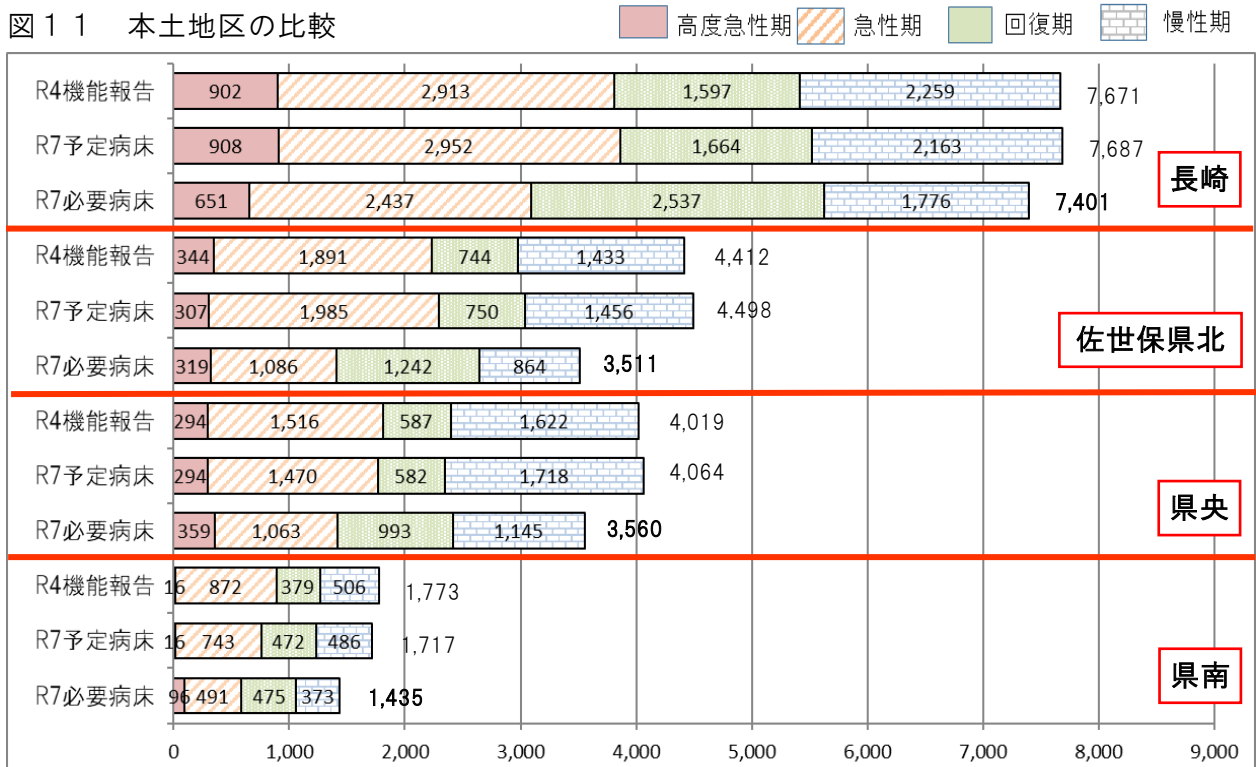


図1-2 離島地区の比較

